

適正利用・エコツーリズムワーキンググループの経過報告・今後の予定

報告日：2020年8月28日

【適正利用・エコツーリズム検討会議の仕組み及びWGの運営】

本WGは、地域連絡会議適正利用・エコツーリズム部会と合同で2010年から「適正利用エコツーリズム検討会議」として開催している。検討会議は、「保全と利用に関する調整を管理主体関係者と専門家、地域関係者が同じ立場で検討する場」である。そして知床世界自然遺産地域管理計画および知床エコツーリズム戦略に基づき、世界遺産地域の資源の適正な利用及びエコツーリズムを含む観光の持続可能化を推進している。その基本原則は次のとおり。

○遺産地域の自然環境の保全とその価値の向上

○世界の観光客への知床らしい良質な自然体験の提供

○持続可能な地域社会と経済の構築

検討会議では、戦略に基づく提案制度による提案の検討とモニタリングを毎回議題にしている。なお、長期モニタリング及び既存ルールの見直しなど、WGとして検討すべき課題の増加に伴い、専門家同士の意見交換が必要と判断し、2018年度から適正利用・エコツーリズムWGを単独開催している。

<コロナウイルス感染拡大を受けた知床観光の状況について>

2019年度2月末の冬季流氷シーズンより徐々に影響が出はじめ、緊急事態宣言が発令された4月から5月にかけては約3週間にわたり道の駅等の観光施設を休館。当該時期の宿泊者数はおよそ2割に満たないと見られ、観光関連サービス業（観光船、ガイド、土産など）においても営業を自粛した。

夏シーズン前には各町とも感染防止策を徹底したうえで観光客の受け入れを行う方針を固めたが、宿泊業、観光関連サービス業が特に厳しく、次いで飲食サービス業が厳しい状況。7月末時点の集計では宿泊施設・観光施設において利用者が前年比の半数を下回っている。利用者は比較的道内客が多い傾向にあり（交通量調査・聞き取りによる）、全体として観光消費が抑制的と推測される。

各町とも補助金や商品券発行等による経済支援や、現状把握に向けた各種調査等を実施している。今後の感染予防や観光客の受け入れについては、新たな生活様式への変革を前提として、国や道、各業界の方針に基づいて行っていくという共通認識に立っている。

1. 知床エコツアーリズム戦略の運用状況

提案が承認され、検討がなされた 2 件の状況は以下のとおりである。また、過去の提案も含めた検討状況は別紙 1 のとおりである。

案件名	提案者	運用状況と課題
赤岩地区昆布ツアー	羅臼町観光協会	<ul style="list-style-type: none"> ● 2019 年度第 1 回検討会議において、検討会議で合意した期間 2021 年度まで継続することを協会として明言した。(参考：半島先端部での文化資源を活用した教育目的のツアーとして、2016 年の検討会議で 5 年間の試行を合意)。 ● 2019 年度は計 20 人（ツアー催行 3 回）が参加。ツアー参加者に対するヒアリングの結果、羅臼昆布の産業文化や自然との共生の歴史について伝承するため、ツアーを継続するべきとの意見があった。 ● ツアーの経営的持続可能性について検討が必要である。 ● 2020 年度のツアーについては、コロナ感染拡大防止のため催行しない。
厳冬期の知床五湖エコツアー事業	斜里町観光協会	<ul style="list-style-type: none"> ● 冬期閉鎖されていた道道知床公園線を除雪し、人数制限、ガイド同伴のうえで、静寂性を保って冬期の知床五湖をまわるツアーを実施している。検討会議での議論では、ゲートによる一般車両の進入禁止措置は今後も継続可能とされた。 ● 2019 年度は 2020 年 3 月 22 日までの実施を予定していたが、少ない積雪による植生への負荷が懸念されたため、3 月 12 日で催行を終了した。参加者は計 1917 名（前年度比 68.9%）であった。 ● コロナ感染拡大の状況をみて、2020 年度のツアー実施の可否や内容を秋の検討会議で協議する。

2. 個別地域における取り組み状況と課題

○知床五湖における利用調整地区制度の運用

高架木道と地上遊歩道での運用を維持し、2020 年度からは地上遊歩道において自由利用期（10 月 21 日～閉園）を廃止、植生保護期間を延長（8 月 1 日～11 月 8 日）して、全ての利用者に知床五湖利用のためのレクチャーを実施できる運用制度へと変更した。

<コロナウイルス感染拡大防止策>

地上遊歩道立ち入りのためのレクチャーについて、原則としてレクチャールーム1部屋25名（定員は50名）とし、さらに人数に応じて屋外に特設ブースを設けることで、感染拡大防止と許容人数確保の両立を目指し運用を進めている。

○カムイワッカ地区におけるマイカー規制

知床五湖ゲート～カムイワッカ区間において、8月9日～15日の7日間でマイカー規制を実施する。また、従来の「アクセス規制」「単なる移動手段」とは異なる、移動そのものを魅力あるツアーコンテンツとして活用する運用について地域での検討が進んでいる。本年度はモデル事業として、ホロベツゲート～カムイワッカ区間において10月2日～4日の3日間で実施を予定している。バス内でのガイドや周辺施設との連携なども検討しており、知床本来の魅力を楽しむ観光デザインづくりにつなげていく。

<コロナウイルス感染拡大防止策>

間隔をあけての着席、定期的な換気及び消毒、マスク着用といった、バス・タクシー業界における感染防止対策ガイドライン（第1版）』に基づいた実施とする予定。

○ウトロ海域におけるケイマフリをシンボルとした協働

知床ウトロ海域環境保全協議会において、海鳥 WEEK 等の各種イベントを縮小して実施した。現在、知床ウトロ海のハンドブック等の売上収入を海鳥及びその生息環境の保全活動と普及啓発活動に充てており、今後羅臼側との連携を見据えた改訂作業を進める予定。

<コロナウイルス感染拡大防止策>

海鳥 WEEK（7月23日～7月31日）について、知床世界遺産センターでのケイマフリ展示と船から海鳥を観察するイベントに限定して実施。イベントについては、町内児童を主な対象として開催（参加者30名程度）。宿泊施設での海鳥トーク及び都道府県をまたぐイベント出店は自粛。

3. 主な検討事項や今後の予定

○検討会議

- ・知床エコツーリズム戦略の運用をはじめとする知床世界自然遺産地域の適正な利用及びエコツーリズムの推進を図るため、引き続き年2回実施予定。
- ・ヒグマ対策連絡会議や野生動物観光促進事業、知床国立公園利用のあり方に関する会議については、必要に応じて情報提供を継続し、知床のエコツーリズムの動向を共有する。
- ・コロナウイルス感染拡大による影響や防止策等について検討会議で共有し、今後の知床におけるエコツーリズムのあり方を議論する予定。

OWG

- ・長期モニタリング等について科学的助言を得るため、引き続き年2回実施予定。
- ・「No. 19 適正利用に向けた管理と取組」「No. 20 適正な利用・エコツーリズムの推進」及び評価項目「Ⅶレクリエーション利用等の人為的活動と自然環境保全が両立されていること」について、適切に実施・評価されるよう科学的助言を行う。
- ・北海道運輸支局をはじめとする地域外の資源利用者とのコミュニケーションを図り、北海道観光局等を中心に、民間関係者も含めた知床の適正な利用について検討する。

上記2会議とも、ネット接続による遠隔参加を可能にする試行を進める。

知床エコツーリズム戦略に基づく提案の進捗状況

H24年度 ①:10月 ②:3月	H25年度 ①:7月 ②:2月	H26年度 ①:7月 ②:1月	H27年度 ①:9月 ②:12月 ③:3月	H28年度 ①:9月 ②:3月	H29年度 ①:10月 ②:2月	H30年度 ①:9月 ②:2月	R1年度 ①:9月 ②:2月
---------------------	--------------------	--------------------	--------------------------	--------------------	---------------------	--------------------	-------------------

実施部会

赤岩地区昆布ツアー一部会 【知床羅臼町観光協会】		提案	承認	実施 報告	実施 報告	実施 報告	実施 報告	実施 報告	条件付 き承認	実施 報告	実施 報告	実施 報告	実施 報告	実施 報告	実施 報告
-----------------------------	--	----	----	----------	----------	----------	----------	----------	------------	----------	----------	----------	----------	----------	----------

終了・解散した部会

知床野生動物エサやり禁止キャンペーン企画部会 【知床斜里町観光協会】	提案	承認	実施 報告	実施 報告	実施 報告	実施 報告	実施 報告	自主 継続							
知床沼部会 【羅臼山岳会】	提案	承認	実施 報告	羅臼山岳会が定点撮影による植生モニタリングを行い、毎年、環境省・林野庁・羅臼町に調査結果を共有する。調査結果は必要に応じて検討会議で報告する。					報告						
知床ロングトレイル・プロジェクト部会 【知床ガイド協議会】		提案	経過 報告	取り 下げ											
知床条例検討部会 【北海道生物多様性保全課】						提案	承認								
先端部地区利用の心得の点検検討部会 【環境省釧路自然環境事務所】						提案		経過 報告	経過 報告	承認					
外国人旅行者向け情報発信の強化部会 【知床財団】						提案		経過 報告	経過 報告	経過 報告	実施 報告	実施 報告	実施 報告	解散	
知床観音岩COAST WAY フットパスコース部会 【知床羅臼フットパスクラブ】													提案	取り 下げ	

個別部会等(報告)

知床五湖冬期利用促進事業検討部会 【知床斜里町観光協会】	提案	経過 報告	経過 報告	経過 報告	承認	予定 報告	実施 報告	実施 報告	実施 報告	承認	○	○	○	○	○	○
知床五湖地区	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
カムイワッカ地区	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ウトロ海域	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
羅臼湖地区	○	○														

羅臼湖部会はH24年度をもって解散
「知床世界遺産施設等運営協議会 羅臼湖歩道維持管理部会」に移行

報告事項

知床五湖地区周辺における早朝利用 【知床斜里町観光協会】							○	○							
スカイバス 【知床斜里町観光協会】							○	○							

※着色は事業(取組)の実施期間
※知床沼については、植生に変化(悪化)が生じた際に報告【平成30年度以降】